

シクロケム

# R体リポ酸包接体で新知見

## NASHの予防・改善を確認

(株)シクロケム(神戸市中央区)は、R体α・リポ酸のγシクロデキストリン包接体(RALA・CD)に、NASH(非アルコール性脂肪肝炎)の予防・改善効果を確認した。ドイツのキール大学らとの共同研究成果。

NASHは、非アルコール性脂肪肝疾患(NAFLD)に炎症や線維化が起こったもので、肝硬変や肝ガンに進行する一方、その発症メカニズムが解明されていない。しかし、最近では発症の原因が、インスリン抵抗

性による肝臓への脂肪蓄積、酸化ストレスなど肝臓に何らかのストレスがかかるためと考えられている。また、別の試験ではNASHモデルマウスにR体α・リポ酸を1カ月投与し、脂肪肝や肝小葉の炎症、脂肪肝の風船状腫大を数値化したNAFLDスコアを測定。その結

果、対照群に比べて有意にスコアが低下し、S体α・リポ酸投与群と比べても低下していた。これにより、同社ではR体α・リポ酸がNASHの症状改善に有効だとし、さらに、R体α・リポ酸をγCDで包接したRALA・CDも有効だと示している。

同社では、RALA・CDを摂取させたマウスの肝脂肪組織を調べたところ、対照群に比べて12

／15リポキシゲナーゼ遺伝子の発現が有意に抑制されていたことを確認した。同遺伝子が抑制されると、脂質異常症マウスではNAFLDが発症しないことから、同社ではRALA・CDはNAFLDが予防できるとしている。

いる。